

平成 30 年度  
第 3 回 羽黒地域振興懇談会  
会 議 録 (概要)

期 日 : 平成 30 年 10 月 25 日 (木)  
場 所 : 羽黒庁舎二階会議室

## 平成30年度 第3回 羽黒地域振興懇談会会議録

○日 時 平成30年10月25日(木) 午後3時00分～午後4時40分

○場 所 羽黒庁舎二階会議室

○出席委員 10名

勝木正人委員、今井忠次委員、山口秀雄委員、堀 誠委員、小南孝子委員、百瀬清昭委員、  
星野博委員、小林 馨委員、梅津久美委員、吉田智紀委員

○欠席委員 5名

榎本トヨ委員、田村元治委員、阿部良一委員、齋藤直道委員、長谷川結委員

○市側出席職員

<羽黒庁舎> 支所長 國井儀昭

総務企画課長 伊藤義明、市民福祉課長 岡部富美、産業建設課長補佐 上林喜博  
地域まちづくり企画調整主査 観世安司、総務地域振興専門員 土岐美代

<本 所> 地域振興課専門員 芳賀俊郎

○傍聴者 なし(報道機関を除く)

○次 第

1.開 会

2.あいさつ 羽黒地域振興懇談会会長 勝木正人  
羽黒庁舎支所長 國井儀昭

3.報 告

(1) 第2次鶴岡市総合計画について

4.協 議

(1) 地域まちづくり未来事業について

(2) その他

5.そ の 他

6.閉 会

## 【会議の概要及び発言趣旨】

### 1 開 会 （総務企画課長）

- 2 あいさつ （羽黒地域振興懇談会会長 勝木正人）  
（羽黒庁舎支所長 國井儀昭）

### 3 報 告 （議長 会長）

#### (1) 第2次鶴岡市総合計画について

— 事務局から報告 総務企画課長・地域まちづくり企画調整主査 —

#### 会 長

ただいまの事務局からの報告について、委員の皆様からご質問等ありませんでしょうか。

#### 委員①

先月、市全体の検討会があり私も出席させていただきました。それぞれ各地域の特色が出ていましたが、似たり寄ったりという感じを受けました。どこの地域も中山間を抱えていますから、観光、農業、豪雪対策、交通の便などのことが多く出されていました。しかし、その中でも地域創生モデルというのは、やはり羽黒らしさを大胆に出していくべきで、それが10年後の姿という感じがします。

農業面でお伺いします。項目のタイトルが「人を育て価値を高める農業の推進」から「地域の特色を生かし価値を高める農業の推進」に変わっています。農業などは高齢化、多老化で人手が非常に不足しています。ほとんどが60、70、80歳を過ぎた人がやっている状況の中、やはり人を育てるということは一番大事だといつも思っているのですが、なぜこれが変わってしまったのでしょうか。

#### 産業建設課長補佐

人を育てるということは、おっしゃるとおり大切なことだと思います。しかし、現在後継者不足、就農者の確保ということに関しては羽黒地域に限られた問題ではないという考え方であり、市全体で同じ方向で取り組むべき施策であると担当課として考え変更させていただきました。

#### 委員①

当然、このことも含まれているという意味ですか。

#### 産業建設課長補佐

羽黒、鶴岡、櫛引などが、それぞれ別のやり方ではなく人を育てるという意味では、地域のみ課題とせず、同じ施策でいいのではないかと認識しているものですから、地域振興計画からはその部分は除かせていただきました。

#### 支所長

例えば新規就農、鶴岡市域外からも新しく農業に参入する人を集める仕組みを作っていくとか、

そのようなことも考えていたのですが、それは市全体の取り組みの中で考えていくということで、羽黒地域に特化したものではありません。ですから、この主な施策からは外しています。

全市的なものは総合計画、施策の大綱の大項目4の農林水産業の部分で既に人材の確保・育成、雇用できる経営体の育成、労働力の確保ということで掲載してありますのでご理解をお願いします。

#### 委員①

そういうことであれば良いと思います。しかし、成果指標が堆肥販売量というのは、掴みやすい数字ということでここに至ったのかもしれませんが、本当であれば農業産出額を10年後に幾らにするとか、新規就農者を何人確保するとか育成するかなどといった具体的な数値目標の方が、非常に説得力があるのではないのでしょうか。堆肥の販売量だけというのは、少し寂しいというのが感想でした。

#### 委員②

その件については、私も違和感を持ちました。堆肥の販売量とするならば農業者が堆肥を大量に購入するということが目標になってしまうのではないのでしょうか。それは少し違うのではないかと思います。

#### 支所長

農業産出額は市全体での指標になるかと思われま。羽黒地域で特化した産出量というのは、販売額もそうですが、少し難しいのではないかと思います。しかし、新規就農者であれば指標になりえると思います。その他にもこの主な施策に関連する指標となるものがあれば再度検討させていただきたいと思います。

#### 会 長

委員③、かつては100万人の観光客が訪れていたのに、このたびの目標値が80万人でいいのですか。

#### 委員④

かつては120万人訪れていましたね。

#### 会 長

10年後は、人口減ということでこの目標値にしたのですか。

#### 地域まちづくり企画調整主査

地域活動センターの利用者数もそうですが、人口はどんどん減ってはいくけれども、利用者数なり観光客数は、その影響を入れればアップという、そのような考え方であります。

#### 委員①

もうひとつ宜しいですか。あつみ農地保全組合が請け負い、福栄小学校の跡地利用ということで養蚕の事業、シルク事業と絡めて始めています。これをなぜ羽黒でやらないのかと疑問に思いました。松ヶ岡を日本遺産と絡め、一小跡地を利用しできないものかと。養蚕は、着るものだけ

ではなく、食品や健康食品、高分子タンパク質ということで、世界中で着目しています。それを新しい素材として観光素材、人を寄せることにも繋がります。単にチャレンジするだけではなく産業化に結びつけていくチャンスだと思いましたが、そのような話は事前になかったのですか。

#### 委員④

そのような話を羽黒に住んでいる人としていました。なぜ、日本遺産に認定されている羽黒にその話を持ってこなかったのだろうか。温海地域で始めたということに対しては誰でも疑問を持つのではないのでしょうか。

#### 委員①

あつみ農地保全組合が受け皿になったということもあるのでしょうか、手向地区であれば近くに実績や伝統のある添川があり、技術的にもレベルが高く良い場所だと思うのですが。旧四小は改築中ですが、あそこも十分可能性があります。

#### 総務企画課長

養蚕で桑の葉の栽培なども含めての話でしょうか。

#### 委員①

そうです。耕作放棄地対策として桑を植栽したらどうでしょう。

#### 総務企画課長

桑の葉自体に消毒、農薬がつくと蚕は凄くデリケートで死んでしまうそうです。ですから養蚕用の桑の葉の栽培をするためには、その半径何キロは農薬を使わないようにするなどの制約があるので、なかなか大変とのことでした。

#### 委員①

殺虫剤の関係ですか。羽黒は農薬が飛んでこない場所は多くあるような気がするのですが。

#### 支所長

半径2キロということで円をひくと、大概の農地がかかるといいます。近くに畑が無く、農薬を使わないようなところでないと難しいのではないかと思います。

#### 委員①

温海地域にも田んぼはありますし、適地なんてそんなに広くはないと思うのですが。たまたま受け皿の関係ということなのかもしれませんね。

#### 委員⑤

やるのはいいのですが出荷ベースで考えていけないといけませんし、人件費など色々絡んでくるわけです。観光とマッチして人件費などが出せるような、採算が合うようなベースで持っていければいいのですが。うちの方でもやっていたんですが、なかなかそこまではいかないようでした。確かにいいことではありますが、伸び悩むということはあるかもしれません。

## 委員①

しかし、今までの養蚕のイメージとは違うのです。昔の生糸をとって繭を育てるという狭い意味での養蚕業ではなく、今は高分子タンパク質で健康食品など新しい分野で出る可能性がある世界なのです。温海はそれで食べていこうなどということではなく、市がかなりバックアップをして実験事業として取り組んでいるのです。すぐにペイしようとか黒字にしようとかではないのです。

## 支所長

事業として軌道に乗ってくれば、作地面積の増加などという議論になってくるかもしれません。今は始まったばかりでもありますし、今後注視していく分野だと思います。

## 会 長

松ヶ岡は葡萄になってしまいましたね。ワイナリーはどこに造るのですか。

## 委員②

先方の希望する場所の話にしかなくておらず、具体的な場所は決まっています。

## 会 長

一小跡地はどうですかと言ったら、断られました。

## 委員②

全然見えない場所にワイナリーを造っても面白くないという話なのかもしれませんね。

## 会 長

もう一つ疑問なことは林業があまり触れられていないことです。酒田は鶴岡の20倍のバイオマスの発電施設ということであり、今後、間伐材が不足してくることが目に見えています。しかし、その辺の施策についてこの計画では何も触れられていません。私は、誰もが間伐材をバイオマス工場に持ち込める仕組みにしたらいいのではないかと思います。

白鷹あたりでは間伐材を持っていくことにより商品券がもらえるといいます。間伐したものを持ち込みできるシステムにすれば、山は荒れないのではないのでしょうか。羽黒地域は森林面積が結構あると思うのですが、間伐材の需要に対して何も触れられていないのはなぜなのでしょう。

## 支所長

羽黒地域だけではなく、林業振興については全市的な課題となっています。大項目4の農林水産部の方針の中でも(4)林業経営基盤の強化と健全で豊かな森林機能・資源の循環という部分で間伐材の利用などに触れているようですし、林業経営の振興なども含めて掲載されているようがあります。そのようなことから、羽黒地域で特化した項目としては挙げていません。

## 会 長

猪などの有害鳥獣の駆除については触れられていますか。

## 支所長

有害鳥獣駆除については新規項目として挙げていました。本日お示しすることができれば良かったのですが、現在、専門委員会で協議・議論している最中ですので、ある程度まとまった段階でお示ししたいと思います。実際、熊や猪の有害鳥獣が増えていますので、そのような対策は総合計画に挙げたということになります。

## 委員③

有害鳥獣駆除、特に猪に対しては千葉県の某市などの田舎の方ですごく敏感になっていて、「猪退治に力を入れます」と市議会議員に立候補すると当選するそうです。それだけ酷いところなのです。ですから、そうなる前に手を打たなければ遅いということなのです。

近所で箱罾免許を取った人がいるのですが、もっと免許も取りやすくして箱罾免許を持っている人口を増やしていく方向を考えてみてはどうでしょうか。

## 支所長

箱罾を増やして欲しい、免許を取得しやすくして欲しいなどの要望は当然挙がってくるでしょう。

## 会 長

他に質問はありませんでしょうか。要望でも宜しいのでしょうか。

## 支所長

要望があれば、関係課に伝えますのでどうぞ。

## 委員①

市全体の検討会でも話をしたのですが随神前のトイレについてです。やはりあの場所は日本遺産に相応しい場所に早期に改修していただきたいです。

## 委員③

とにかく私は、観光は現場にあるということはずっと言っています。机上でいくら観光に相応しいものをもっと思っても、現場を見ないとそれは無理な話なのです。ですから、行政も足を運んでください。行政がお金を出してやるとか出し渋るとか、そのような話ではなく、まず人のためになるような観光を作りましょうということなのです。

## 支所長

できれば、まちづくり未来事業で予算を確保したいとは思っています。しかし、場所、費用負担、また事業主体をどこにするかというような細かい部分の詰めがまだできていないことが課題となっています。それをクリアし地元も了承すれば、何とか前に進むのではないかとはいっていました。

## 会 長

他に何かありませんでしょうか。

## 委員⑥

地域活動センターの利用者数が出ていますが、利用者数が多いのは、サークルや研修などの利用もあるかもしれませんが、今は百歳体操などを実施しているからなのです。しかし、その人達も年を取ると来れなくなると思うのです。バスでなくても構いませんので何らかの交通手段があればと思っています。

## 総務企画課長

高齢者の方が今多く利用しているという状況を踏まえ、目標値については現状維持というところで押さえさせていただいているところです。バスの関係につきましては後ほどまちづくり未来事業の説明がありますが、こちらの17番に市営バスを毎日運行できたらということで考えています。

## 会 長

他にありませんでしょうか。では4.協議(1)地域まちづくり未来事業について説明をお願いします。

## 4 協 議

### (1) 地域まちづくり未来事業について

#### — 事務局説明 地域まちづくり企画調整主査 —

## 会 長

ありがとうございました。事務局から説明いただきましたが質問や意見などありますか。

## 委員⑥

新島友好盟約35周年記念事業とありますが、いつごろ新島に行く予定ですか。婦人会の中でも新島に行ってみたいという話がありましたので、行くというような話があれば一声かけてあげたいなと思ったのでした。

## 会 長

式典の開催日は決定したのですか。

## 総務企画課長

— 6月8日の墓参講に合わせ、6月9日に記念式典が開催される予定です。 —

## 委員⑥

どこかで募集をかけてくれればいいのですが、子どもたちは行くのですか。

## 会 長

子どもたちはサマー交流で7月の末に行きます。訪問団を形成した場合、それに対する補助も



考えているのですか。

### 支所長

まだ白紙です。行く団体、ベースとなるところがあれば補助ということはあるかもしれませんが。以前、山新観光などでツアーを募集して行ったこともあります。新島の意向を踏まえ今後検討していくと思います。

### 会 長

他にありますか。

### 委員①

センターのグラウンド整備事業ということですが、体育館の改修、例えばランニングコースを作るなどということは追加することはできませんか。

冬になると雪で走れなくなります。体育館のステージの上に通路を作ってもらおうと二階ギャラリーを周るコースができ冬場のトレーニングには最適な場所になると思うのですが。

### 支所長

農村センターのグラウンドは教育委員会ではなく、庁舎の管轄となっています。教育委員会が管轄している施設はまちづくり未来事業の対象外です。まちづくり未来事業は全市に関わるものではなく、地域に特化したものに使ってくださいということですので、農村センターに関しては総務企画課で担当しており、要望もありましたので挙げさせていただきました。

### 会 長

農村センターのグラウンドはいくらお金を掛けても全然駄目です。ですからアスファルトを盛り人口芝にするのが一番いいと思います。

### 委員①

自分は櫛引の方を少し利用していますが、あそこは体育館を中心に球場、陸上競技場、サッカー場と一大スポーツエリアとなっていて、凄く羨ましく思うのです。櫛引にあるから羽黒にも欲しいというのは違うのかもしれませんが、やはり羽黒の場合は、場所的には良い所なのですが貧弱な感じがします。活動センターとコミセンの改築の話も出ていますが、あの辺一帯を再整備し、スポーツエリアとコミュニティエリアの一大拠点にしたらどうでしょうか。

### 支所長

農村センターグラウンドはそもそも水捌けが悪く、暗渠をきちんとしないと使えません。

### 会 長

ですから、きちんと舗装してその上にゴムを張り人口芝にする。そうすれば水捌けの問題は解決するのではないですか。

### 支所長

利用者からはそのような意見は出ませんでした。人口芝にすることにより用途が限定される

ということはないのですか。

## 会 長

野球で利用するのはスポ少ですのでマウンドが不要です。ですからソフトボールもできます。グラウンドゴルフはもちろんゲートボールもサッカーもできます。グラウンド改修をするのであれば人口芝にすべきです。

## 支所長

グラウンド整備事業年度は 33 年度ですので、それまで検討期間があります。ただいまの意見も参考にさせていただきたいと思います。

## 委員③

委員①の話ではないのですが、大東文化大駅伝部にいる羽黒出身者がまた箱根を走ります。その子が中学生時代、雪道を吹雪の中大鳥居の辺りを走っているものでした。頑張っているものだと見ていたら酒南から大東文化大に行き、この間も予選会を突破していました。このような若者もいるのですから、その後も繋がるような「人材を育てていく」そのようなつくりを我々ももっと推進していくべきだと思います。

## 委員①

石段マラソンについてです。もっと若い選手に走って欲しいのですが、やはり高校生も一般もトップクラスの人たちは、非常に難しく走りに影響するので出場しないという話でした。石段マラソンがもっと若い人が走りやすいような方法などを考えてみてはどうでしょうか。

## 委員④

市営バスについてですが、現時点で川代線・今野線合わせて乗車人数は 1,880 人だと思っていましたが、毎日往復便になるとどのくらいの乗車人数を確保する必要があるのでしょうか。当初市営バスは 1,250 人からスタートしたわけですが、それ以上減ると廃止になるということでした。今度、往復毎日運行になった場合、これもある程度乗車人数がないと廃止になる可能性もあるのでしょうか。

## 総務企画課長

その通りでございます。乗車人数がどれだけ伸びるのかは実際に運行してみないと分からない部分でもあり、そのために 3 年間試験運行を実施することで考えています。

現在は、隔日運行なので高校生が利用できない、毎日運行になれば利用するのだがとか、ゆぼかから松ヶ岡までの観光客の二次交通がないということで、その二次交通にもなりうる部分でもあります。そのようなところで、毎日運行を 3 年間続けてみて、実際にどれくらいの乗車人数がいるかというところで、最終的には費用対効果を検証した後に、継続の可否を判断することになると思います。

## 委員④

現在、バスは一台ですが毎日運行となれば二台になるわけです。そうすると、ゆぼかで一旦交わりませよね。

## 総務企画課長

そこで二台並んで行くのか、それともどちらかに乗り換えて行くのか、今後検討していくことになります。

## 委員④

それは、乗車人数によりますよね。乗換をして一台で行くか、乗車人数が多ければそのまま二台で行くか、もしくは路線変更をしてもいいのかもしれませんが。

## 支所長

地域の人だけではなく観光客や高校生など、今まで利用していない人の利用も期待しています。例えば、路線バスでゆぼかまで来て、そこから市営バスに乗り換えて松ヶ岡まで行くというような仕組みであれば良いのですが。

## 委員⑦

今、話題となりました高校生のバス利用の話になります。今度、県で高校の再編成があり、山添高校が庄内町に行くようになります。そうなるとその高校生も交通弱者になると思うのです。羽黒在住の高校生がどのくらい庄内町に通うことになるのかは分かりませんが、再編成後の高校にどのようにして通うのかといった時に、親が送迎しなくてもいいような時間帯や、路線の拡充、乗り換えのことなどを鶴岡市全体、庄内地域全体で考えていかないと難しいのではないかと思います。

うちの方は、バス送迎のある羽黒高校に多く入るのですが、できれば公立に入れたいという時に、一箇所にまとめられてしまった場所が庄内の中心といっても庄内町なので、通いづらいというような生徒が出てくることも考えられます。発達障害の子や一般よりちょっと難しい子が、そこに通うようになるとしたら、やはりそれをカバーする公共交通機関などがあつたらいいのではないのでしょうか。

今、鶴岡市内の特別支援学級の子でIQ等の問題で高等養護などに入れられないような子たちが、山添高校に入っているのですが、鶴岡市内から山添高校に行くのも難しいというようなことを考えると、羽黒地域に限らず鶴岡市全体で高校生の交通弱者ということも考えて欲しいです。

## 委員③

質問ですが、朝日の場合バスは落合までしか行きませんよね。その先の大網とか田麦俣などの高校生はどのようにして通っているのですか。

## 地域振興課専門員

朝日地域についてはお話しのとおり落合までというのが基本ですが、高校生の通学のために朝行く便として1便、夕方帰る便として2便は大鳥と田麦俣まで庄内交通直通のものを、まだお願いして残してもらっています。昼間は落合までしか行きませんが、朝夕の行き帰りだけは確保していただいている状況です。

## 委員①

検討会議の中で出た話で、例えば温海地域ですが子どもが高校生になると通うのが大変になるとのことで、家族ぐるみで鶴岡地域の街中に移住するとのことでした。それで世帯数が減ってい

る、そのような現象が起きているので何とかしなければと温海地域の委員の方が言っていました。

#### 委員⑧

先日、市P連の会合があったのですが、その中でも子どもたちの人口減少ということで、教育委員会からの説明は中高一貫校とのことでした。それで各学校が競い合い、偏差値が上がり就学率が上がっていくとのことでしたが、根本は地元を支える若者たちをどのようにして育成するかが大事であり、市民のくらしの5番の5ページにあります。地域経済を支える人材をどう育てるか。鶴岡市内は企業が少ないのです。そこを根本的に見直していかないと、まちづくり未来事業の13項目に次世代人材育成事業と掲げていますが、お金をかけても出て行ってしまえば、支えてくれる若者たちがいないということに繋がります。

海もあり山もあり日本遺産が二つもある。こんな場所はないので、それを若者たちにどう残していくのか。やはり帰ってこれる場所があるかないかだと思うのです。そこにもっと力を入れていただきたいというのが願いです。

羽黒の子どもたちは、心豊かに自然あふれる中で育ってきているものですから、高校に行くと染まってしまう部分があります。そのような部分でしっかりと地域として支えていくということが本当に大事になってくると思いますので、帰ってこれる場所を、多くの企業を誘致していただきたいと思います。

もう一点ですが、羽黒地域は魅力あふれる観光の推進ということなのですが、今、西の伊勢、東の出羽三山ということでやっていますが、未だに山形空港を経由しなければならず、名古屋との直通の交通機関がありません。観光施設に連携して周遊型の増大を求めれば、庄内空港直結という部分でもっと動いてもいいのではないのでしょうか。そうなれば、外国人観光客も来るのではないのでしょうか。山形空港からこちらに来る交通機関がないことが大変なのであれば最短ルートを作ってしまう方がいいのではないのでしょうか。庄内空港に名古屋便を、庄内空港に観光バスを市でチャーターして観光地を巡る。そのような感じでやってみてもいいのではないのでしょうか。

#### 委員⑨

伊勢はネームバリューがあるが、出羽三山はまだありません。もっとネームバリューを底上げする意味で頑張っていないと駄目だと思います。

#### 会長

ある講演で出羽三山の認知度そのものが日本全国を照らすと全然ないとの話がありました。ですから、伊勢と対比すること自体が間違いなのです。羽黒住民は羽黒は有名なので黙っていても観光客が来ると思っているようですが、その考え方は全く当たっていないそうです。山形は秋田の向こう側という認識しかない。ですから、こっちからもっと発信していく必要があると思います。

#### 委員⑩

日本遺産もあるので、もう少し滞留するような、観光客がまた来たいと思えるようなことをやらないと駄目だと思います。伊勢は整備されています。人が行きやすいような観光地づくりをすべきだと思います。

## 会 長

その通りです。観光客の視点での観光客誘致ということをしなないとはいけません。駐車場、トイレやベンチがないようではいけません。では意見は出しつくしましたので、次に(2) その他ということで事務局お願いします。

## 総務企画課長

事務局からはございません。

## 会 長

では協議を終了させていただきます。進行を事務局にお返しします。

## 総務企画課長

ありがとうございました。5.その他になりますが何か話題などありますでしょうか。

## 委員⑥

二つほどあります。私は人権擁護委員もやっているのですが、今度小学校の子どもたちの人権擁護書道というものがあります。統廃合して鶴岡市で今全部で29校ありますが、そのうち23校から出品していただきました。昨年は750点ほどだったのですが、今年は1000点を超えました。その展示が11月23日の祝日から27日までの5日間、エスマールのイベントホールで開催されますのでどうか皆さん見に来てください。

それからもう一つですが、心の健康応援団の講演会があります。手向地域活動センターを会場に11月30日に、笑いの絶えない人生をということで富沢のバスガイドをやっている方のお話を聞いて笑いましょうという内容になります。午後からになりますので、是非参加してください。

## 総務企画課長

ありがとうございました。他に何かございますか。

## 委員③

大鳥居の話になりますが、11月20日くらいにはできるであろうということですが、また夜中に通行止めという状態になるわけですので、遅くなる方は気を付けてください。できれば、その前の道路島の植栽部分などについては、行政の方で現在、年2回ほど草刈りをやっているようですが、3回に増やしたり、駐車場の草刈りなどもそうですが、是非要望させていただきたいと思っておりますので宜しくお願いします。

## 総務企画課長

ありがとうございました。他にございますか。それでは長時間にわたりご協議いただきまして大変ありがとうございました。沢山のご意見をいただきましたのでこれを参考にして検討して参りたいと思っております。それでは以上をもちまして羽黒地域振興懇談会を閉会いたします。ありがとうございました。

